



うちどく

# 家読のススメ NO. 6

H31. 1. 17  
発行

美里中学校区教育を考える会  
紀美野町立美里中学校・育友会



## 『家読強化週間』への協力ありがとうございました！

今年度最後の第3回家読強化週間（12/22～1/7）が終わりました。年末年始をはさみ、保護者の方には大掃除や新年を迎える準備、年始の挨拶等でお忙しかったことと存じます。そんな中、今回も家読（家族ふれあい読書）にご協力いただきありがとうございました。今回も、できるだけたくさんの方の感想を掲載させていただきます。



### 第3回家読強化週間で読まれた本 & 感想

家読で読んだ本の題名  
**青くて痛くて脆い**  
作者 住野よる  
出版社 角川書店

読んだ人 自分  
読み終わった日 12/23  
好きな登場人物 田端 楓  
感想 学生時代は「青くて痛くて脆い」ようなものだから後悔してもその時にしか学べないことを学べばよいと思った。



読んだ人 母 読み終わった日 12/30  
好きな登場人物 田端 楓  
感想 高校生までにはできなかったこと。大人になってしまおうとできないこと。大学生だからできること。大学生を象徴するような作品だ！と思いました。

家読で読んだ本の題名  
**猫町くんと猫と黒猫**  
作者 櫛屋 京介  
出版社 小学館

読んだ人 自分 読み終わった日  
好きな登場人物 秋津先輩 夏目 夙川先生  
感想 人間と猫又と一緒に共存していくという所がまず普通じゃないけど、猫人も考えることは一緒に猫町や秋津先輩みないないいい考えの人が増えたらいいと思う。

読んだ人 妹 読み終わった日 1/2  
好きな登場人物  
感想 ようかいウオッチみたいでした。人間と猫又みたいな妖怪と一緒に生活するのがいいなと思いました。

家読で読んだ本の題名  
**名探偵VS怪人幻影師**  
作者 はやみねかおる  
出版社 青い鳥文庫

読んだ人 自分 読み終わった日 12/25  
好きな登場人物 美緒  
感想 頼りない教授かと思いきや、事件をちゃんと解決してくれたので、最後には教授の印象がかわってよかった。

読んだ人 母 読み終わった日 1/5  
好きな登場人物 夢水清志郎（教授）  
感想 おやつが大好きで子供っぽく頼りなくもみえる教授が温かく伊緒をサポートしながら解決に導いていくのがおもしろかったです。

家読で読んだ本の題名  
**いちご同盟**  
作者 三田誠広  
出版社 集英社文庫



読んだ人 自分  
読み終わった日 12/22  
好きな登場人物 直美  
感想 生死をさまよっているのに元気で明るい直美に感動した自分も直美みたいになりたいと思った。

読んだ人 父 読み終わった日 1/6  
好きな登場人物 直美の父  
感想 娘を病気で亡くしています。その運命を呪っていたが、感謝出来るようになった、と言っています。この気持ちの変化に感動しました。

家読で読んだ本の題名  
**自分を操る超集中力**  
作者 メンタリストDaiGo  
出版社 かんき出版

読んだ人 自分  
読み終わった日 1/6  
好きな登場人物 DaiGo  
感想 私は勉強があまり好きではなく、兄も書いてくれていたように、やる気がないので、この本を読みました。この本は、学ぶことがたくさんあるのでみなさんにも読んでもらいたいです。

読んだ人 兄  
読み終わった日 11/26  
好きな登場人物 DaiGo  
感想 受験生、また勉強したいと思っている人たちにとってはこの本から学ぶことが多いと思いました。なかなか勉強のやる気がおこらない、できないという人にぜひ読んでもらいたいです。

家読で読んだ本の題名  
**下町ロケット**  
作者 池井戸 潤  
出版社 小学館

読んだ人 弟 読み終わった日 12/21  
好きな登場人物 佃  
感想 中小企業であっても大企業が作れないすばらしい製品を作ることができる。また、汚い勝ち方よりはキレイな勝ち方のほうが良いと思った。

読んだ人 姉 読み終わった日 12/30  
好きな登場人物 佃社長  
感想 佃製作所の社長である佃さんが、小さい頃の夢であるロケット打ち上げに成功し、帝国重工さんと協力して、農業器具の無人ロボットをつくっていく話で、最終的にロケットを打ち上げるという話です。

ここからは、生徒だけまたは親子で違う本を読んでいる人たちの感想を紹介します。

<p>家読で読んだ本の題名 <b>天使が知っている</b> 作者 藤本ひとり 出版社 青い鳥文庫</p>		<p>家読で読んだ本の題名 <b>ハリーポッターと呪いの子</b> 作者 J.K.ローリング 出版社 静山社</p>	<p>家読で読んだ本の題名 <b>打ち上げ花火下から見るか上からみるか</b> 作者 岩井俊二 出版社 角川文庫</p>
<p>読んだ人 私 読み終わった日 1/6 好きな登場人物 上杉、小塚、黒木 感想 今回は上杉が主人公で、目の病にかかった時の話です。国際問題にまで発展していたので、児童書とは思えませんでした。</p>	<p>読んだ人 私 読み終わった日 1/7 好きな登場人物 感想 はじめアルバスとハリーはアルバスがスリザリンに入ったことで口数が減ってしまいました。ストーリーが進むにつれて2人の中はよくなり、家族はいいものだったと思った。</p>	<p>読んだ人 自分 読み終わった日 12/28 好きな登場人物 典道 感想 もしも世界があって、それが3回あり、どんどん世界がおかしくなっていくのが面白いです。</p>	
<p>家読で読んだ本の題名 <b>また同じ夢を見ていた</b> 作者 住野よる 出版社 双葉文庫</p>	<p>家読で読んだ本の題名 <b>きみが見つける物語</b> 作者 あさのあつこ他 出版社 角川文庫</p>		<p>家読で読んだ本の題名 <b>最強のコミュニケーションツッコミ術</b> 作者 村瀬 健 出版社 祥伝社</p>
<p>読んだ人 私 読み終わった日 1/5 好きな登場人物 感想 人生について話していたりして、主人公の人と同じ考えみたいな、思っていることが同じだったところもあって共感したところもあった。いい話。</p>	<p>読んだ人 自分 読み終わった日 1/6 好きな登場人物 感想 心温まる話が多かった。学生が主人公の話だけかと思ったら、そうでもなかった。</p>	<p>読んだ人 母 読み終わった日 12/29 好きな登場人物 感想 仕事で村瀬氏の講演を聞き、サインをしてもらって買って読んだ。つつこみが上手な人はコミュニケーションが長けている人が多く愛のあるつつこみができる人は社交的な人ということが印象深い。</p>	

先生達も読書をしています。先生達の感想も紹介します。

<p>家読で読んだ本の題名 <b>漱石の印税帖</b> 作者 松岡 譲 出版社 文藝春秋</p>	<p>読んだ人 先生 読み終わった日 1/7 好きな登場人物 漱石の弟子たち（松岡譲、芥川龍之介、菊池寛、久米正雄 他） 感想 筆者は漱石の弟子の一人である。漱石の長女・筆子に見初められて結婚した（そのまた娘は半藤一利の妻の茉莉子）。漱石の弟子たちは、毎週木曜日を面会日と決め、その日には漱石を囲んでいろいろと問答をしていた。その一間を「漱石山房」という。昨年夏に漱石山房を復元した資料館に行き、同じく冬には雑司ヶ谷の漱石の墓に参った。そのため、一層この本の中身が身近に感じられた。大好きな夏目漱石とその弟子たちの体温までが感じられるかのようであった（学校の本を借りて読みました）</p>
<p>家読で読んだ本の題名 <b>安倍官邸 vs. NHK</b> 作者 相澤 冬樹 出版社 文藝春秋</p>	<p>読んだ人 先生 読み終わった日 12/31 好きな登場人物 好き…？丁寧取材する記者の皆さんがすごいと思う。 感想 2017年の流行語大賞に選ばれたが、それまでは聞いたこともなく、恥ずかしながら全く知らなかった。この言葉が、日本全国知らない人がいないぐらい有名になるきっかけになった『森友学園問題』のことはすでに忘れかけてしまいかけています。中学生が聞いても、どこかおかしいと首をかしげるような事件だったのに。そんな中、『森友学園問題』をスクープしたNHK記者が退職に至ったいきさつと、取材内容と実際の報道の対比が詳しく書かれていて興味深かった。</p>
<p>家読で読んだ本の題名 <b>大富豪からの手紙</b> 作者 本田 健 出版社 ダイヤモンド社</p>	<p>読んだ人 先生 読み終わった日 12/26 好きな登場人物 亡くなった祖父（面影） 感想 大富豪だった祖父の孫のために「9つの手紙」を残されて、その「手紙をあけるタイミングだと感じたとき」に1つずつ読みながら、各国の祖父の友人たちと関わりながら自分の歩むべきところに向かっていく楽しみがある。どのタイミングで手紙を読み出すかが楽しみになってくる。</p>

お忙しい中、『家読（家族ふれあい読書）』にご協力いただき、ありがとうございました。今号が、今年度の「家読のススメ」の最終号になります。『家読（家族ふれあい読書）』活動の周知と入庫本の紹介、読書の感想を中心に「家読のススメ」を発行してきました。中学生になり、塾や宿題、SNS等で家族との交流が減りがちになる中、この活動を通して家族の会話が増えたり、「読書」をするきっかけ（保護者の方も）になっていればと思います。

来年度も、『家読（家族ふれあい読書）』の取組は続けていきたいと考えています。ぜひ、読書を通して家族間のコミュニケーションをより深め、読書体験を他者と共有しながら、人とつながる喜びや読書の楽しさを広げていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。